

もも栽培情報第6号

令和2年8月27日
富山県高岡農林振興センター

■ 1 概況

今年のももの収穫期は、「あかつき」で始期が7月23日と、前年並みで、平年より4日早くなりました。また、その後の品種もすべて収穫期が平年に比べ早まりました。

■ 2 病害虫防除

せん孔細菌病の被害葉が多い園地では、来年に向けて病原細菌の密度を低減させるため、下記防除の後、10月上旬にムッシュボルドーDF（500倍クレフノン100倍を加用）を追加散布して下さい。

時期	対象病害虫	散布薬剤名	希釈倍数	100L当 必要薬剤 (g,cc)	10a当 散布量	防除 実施日 (自己記入)
9/10 ~12	せん孔細菌病 薬害軽減	ムッシュボルドーDF クレフノン	500倍 100倍	200g 1kg	400L	月 日
9/24 ~26	せん孔細菌病 薬害軽減	ムッシュボルドーDF クレフノン	500倍 100倍	200g 1kg	400L	月 日

※台風の接近等により強風が予想される場合は、上記にかかわらず、事前にムッシュボルドーDF（500倍クレフノン100倍を加用）を散布して下さい。

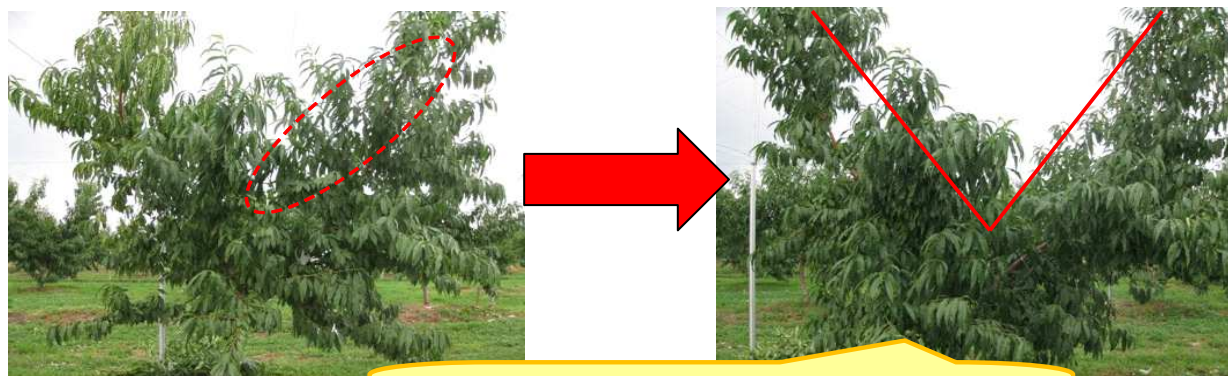
※ムッシュボルドーDF（クレフノン加用）はICボルドー412（30倍）に変更可能です。

※ボルドー液の予防効果の持続期間は15日間程度であることから、散布間隔が空きすぎないように注意して下さい。

※園外への飛散や他作物への飛散が無いように十分注意して散布して下さい。

■ 3 秋季せん定について（若木）

樹形確立や翌年の花芽形成を促すため、9月上中旬を目処に、主枝や亜主枝候補枝の生育を妨げる長大な枝や、受光環境を悪化させる直上枝等を切除して下さい（図1）。ただし、樹勢の落ち着いた成木や樹勢の弱い木では過度な切除により、さらに樹勢低下を招くので注意して下さい。



せん定前

・せん定後、側面からの外見がV字になるように。

せん定後

図1 秋季せん定の実施例

■ 4 施肥管理について

礼肥として、9月上旬頃に硫安を年間窒素施用量の20%程度施用して下さい(苗木、未結実樹の礼肥は必要ありません)。施肥量は表1、2を目安に、樹齢や樹勢、今年の果実の結実量に応じ、調節して施用して下さい。

表1 成木(5年生以上の樹)

種類	施肥時期	肥料例	施肥量 (10a 当たり)	成分量		
				N	P	K
礼 肥	9月上旬	硫安	13kg	2.7kg	—	—
土壌改良	11月初旬	苦土石灰	5袋 (100kg)	—	—	—
		牛ふん堆肥	1～2t			
基 肥	11月下旬～12月	果樹専用1号	4袋 (80kg)	12kg	8kg	9kg

※3～4年生樹の施肥量は上記の半分程度が目安です。

※樹勢の弱い樹では果樹専用1号の施肥量を1～2割程度増やして下さい。また、牛ふん堆肥等土壌改良資材の施用で地力増強に努めて下さい。

表2 苗木、幼木(未結実樹)

種類	施肥時期	肥料例	施肥量 (10a 当)	成分量		
				N	P	K
土壌改良	11月初旬	苦土石灰	5袋 (100kg)	—	—	—
		牛ふん堆肥	1～2t			
基 肥	11月下旬～12月	果樹専用1号	1袋 (20kg)	3kg	2kg	2.6kg

※牛ふん堆肥等土壌改良資材の施用で地力増強に努めて下さい。

■ 6 台風等の強風対策について

台風の発生しやすい時期となっています。被害を軽減するため、台風の接近前及び通過後に以下の点に留意して対策を実施して下さい。

事前点検・通過後点検

支柱・縄の点検：大枝、若木等の支柱や結束縄の点検・補強

防風施設の点検：支柱やネットなどの点検・補強

排水路等の点検：明きよ、暗きよ排水路の点検・手直し

被害対策

傷口の保護：枝折れ等の傷口はきれいに切り直し、トップジンMペースト(使用回数：年3回まで)などを塗布する。

倒伏樹の回復：倒伏した樹の引き起こしと、支柱入れ、根回りのかん水を実施する。根の損傷はきれいに切り直し、トップジンMペーストなどを塗布する。

せん孔細菌病の感染拡大防止：長時間の強風後や、豪雨があった場合、台風通過後、速やか(1～2日後)にムッシュボルドーDF(500倍 クレフノン100倍を加用)を散布する。

お問い合わせ：富山県高岡農林振興センター担い手支援課園芸振興班
担当 濱谷 Tel26-8476